

発行所
ビジネス 株式会社
Edison Vitality Victory
1-0961 東京都千代田区三軒町2-1-5
03(3262)3458 FAX03(5214)6633
1-0951 大阪市中央区南本町1-5-11
06(6632)2406 FAX06(6626)2999
3-0961 広島市西区草津東2-2-38
082(274)2650 FAX082(274)2651

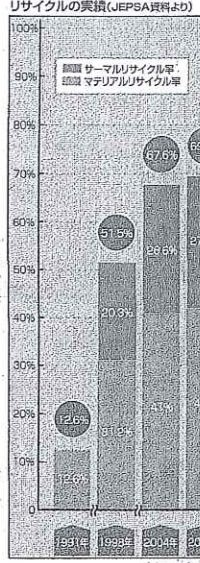
7月13日 No.1257
—2015年(平成27年)—
週刊 月曜発行
発行人 河村 勝志
平成元年9月22日 第3種郵便物承認
購読料 年間 22,900円+税
(定価) 1部本体 495円+税

循環経済新聞

The Recycling Economy Times

産廃・一廃・資源リサイクル業務に対応!
セミオーダーパッケージソフトの
環境将軍R
株式会社エディソン 代表取締役 佐藤 伸二
0120-857-493 Edison

太陽光2MW規模で開始



リサイクルの実績(JEPSA資料より)

発泡スチロール協会

発泡スチロール協会(JEPSA) 東京千代田 天知秀介会長、3001・9046(1)は7月2日、2014年の発泡スチロールのリサイクル率が過去最高の89.3%になったことを明らかにした。回収対象量は1万9420トンに対して、有効利用量は1万5060トンだった。前年比(13年比)で回収対象量、有効利用量ともに増加した。マテリアルリサイクル率が微減した。マテリアルリサイクル率が若年増えた。

2014年実績、過去最高に

14年実績のマテリアルと、インゴット(溶融ペレット)が7790リサイクル量1万2400の内訳をみる。0.0t、ペレット再生品その他が970t、サマールリサイクルの手法別(焼却発電、焼却熱回収、回形燃料化(RPF)など)の量は前年比に比べて増加している。JEPSSAによると、近年はRPFなどの面燃燃料が増え、焼却熱回収、回形燃料化(RPF)の量は前年比に比べて増加している。JEPSSAによると、近年はRPFなどの面燃燃料が増え、焼却熱回収、回形燃料化(RPF)の量は前年比に比べて増加している。

リサイクル率 89.3%

RPFなどエネ回収が寄与

天知秀介会長

現在のリサイクル率(※)は12.6%に過ぎなかった。90年代以降、出荷量は増加し、11年の東日本大震災、翌12年の東北太平洋地域の水産加工業者が環境的な打撃を受けたのが原因だ。出荷量は若干回復したが、若年層の魚離れなども影響しており、JEPSSAは、建材向け需要を伸ばす必要があり、設備の稼働率が低下している。これについてJEPSSAでは、現在、地域の中規模クラスの量販店などにリサイクルの活用を薦めているところだ。

鉄スクラップで業務提携

全国で扱い量400万t

共栄(神戸市、郡塚)に、鉄鋼業の発展に寄与することを旨とする。今回、業務提携した3社は、西日本を中心に、鉄スクラップの集積・販売・加工の集積拠点を有している。2社は、7月1日、鉄スクラップ事業の業務提携を発表した。相互に営業拠点やマートを活用することでコスト競争力を高め、顧客満足度を高める。顧客満足度を高める。顧客満足度を高める。顧客満足度を高める。

行動指針の素案が明らかに

大規模災害発生時に開催された「大規模災害時の廃棄物対策行動指針の素案が明らかに」の役割などを記述。東北・関東中部近畿中国・四国・九州の8ブロックでは、情報共有や人材交流を図る他、処理・処分・再生利用先などを検討する。災害規模が大きくなると、他地域への協力要請も必要となる。地域ブロック間の連携を進める。



監視機で産廃監視 空パトロールを実施

全国に分散する各社拠点を有効利用し、コスト競争力を高めている。今回の提携は、縮小しつつあるスクラップ業界に、単独では生き残れないという危機感を抱く3社の価値観が一致したことを受けた。今後、3社で定期的に会議を開催して提携範囲を拡大させていく。国内外での共同販売など新たなステップを模索。経済環境の変化に耐え得る体制を構築したいと考えた。

環境省を事務局として2015年度から専門家の紹介やアドバイザーの派遣を行う。民間(公社)全国産廃廃棄物連合会や(社)セマソン協会などと組織する民間事業者団体グループで構成する。

使用機はマルチコブナー(6キローター、カホンフレキシター)で、全長98センチ、重量約45kg。サモビリティの活用が注目されている。

EPDM・NR・NBR・SBR

ゴムのマテリアルリサイクル

KAYAMA 加山興業株式会社
http://www.kayama-k.co.jp/ 0120-053-381

廃棄物の一歩先

新時代のために!!
混合廃棄物選別施設
H27年度末OPEN予定
株式会社 シタラ興産
〒365-0812 埼玉県南埼玉郡新子口1768-1
TEL 048-874-0310 FAX 048-874-0312